

報道発表資料

大阪府トップ > 報道発表資料 > 詳細

平成26年度における大阪府内のダイオキシン類環境調査結果等について

代表連絡先

環境農林水産部 環境管理室環境
保全課 環境計画グループ
ダイヤルイン番号:06-6210-9577
メールアドレス:kankvokanri-
g03@sbox.pref.osaka.lg.jp

提供日	2015年8月21日					
提供時間	14時0分					
内容	<p>大阪府及び関係機関(※)は、府域におけるダイオキシン類による環境の汚染状況を経年的に把握・評価し施策に反映するため、ダイオキシン類環境調査を実施しています。このほど、平成26年度に実施したダイオキシン類環境調査の結果及び大阪府内の事業者が実施した排出ガス等のダイオキシン類濃度測定の結果について下記のとおり取りまとめましたので、お知らせします。</p> <p>※関係機関:国土交通省近畿地方整備局、大阪市、堺市、豊中市、吹田市、高槻市、枚方市、八尾市、柏原市、東大阪市</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 ダイオキシン類環境調査結果の概要</p> <p>(1)常時監視結果</p> <p>ダイオキシン類対策特別措置法第26条に基づき、大気、河川水質、海域水質、河川底質、海域底質、地下水質及び土壌についてダイオキシン類の常時監視を行いました。</p> <p>大気、海域水質、河川底質、海域底質、地下水質及び土壌では、調査した全ての地点で、環境基準を達成していました。河川水質は3地点(新三国橋(神崎川)、福栄橋下流100m・三池橋(恩智川))で環境基準を超過していました。</p> <p>なお、常時監視を開始した平成12年度以降、大気、河川水質・底質、海域水質・底質中の濃度は緩やかな改善傾向で推移しています。</p>					
	調査項目(単位)	調査地点数	環境基準超過地点数	環境基準値	濃度範囲	平均値
	大気 (pg-TEQ/m ³)	36	0地点	0.6	0.0084 から 0.053	0.021
	河川水質 (pg-TEQ/L)	71	3地点	1	0.022 から 1.2	0.29
	海域水質 (pg-TEQ/L)	10	0地点	1	0.027 から 0.48	0.11
	河川底質 (pg-TEQ/g)	72	0地点	150	0.12 から 150	18
	海域底質 (pg-TEQ/g)	10	0地点	150	1.8 から 79	23
	地下水質 (pg-TEQ/L)	21	0地点	1	0.018 から 0.18	—
	土壌 (pg-TEQ/g)	27	0地点	1000	0.0069 から 14	—
	<p>(TEQについて)</p> <p>ダイオキシン類(ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン(PCDD)、ポリ塩化ジベンゾフラン(PCDF)及びコプラナーポリ塩化ビフェニル(コプラナーPCB))全体の毒性の強さを表したものです。PCDD、PCDF、コプラナーPCBには、それぞれに多くの異性体があり、その異性体によって毒性が異なります。最も毒性が強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの量として換算した値です。</p> <p>(2)環境基準の超過に対する対応</p>					

常時監視で環境基準を超過した河川については、関係機関と連携して、汚染範囲を確認しており、浄化浚渫工事など基準達成に向けた取り組みを行っていきます。

なお、当該河川では、いずれも上水道水源としての利用はなく、現時点で健康被害のおそれはないと考えられます。

(3) 追跡調査結果

これまでの常時監視で環境基準を超過した河川における原因究明や濃度変動の状況把握のために、恩智川、玉串川、平野川、三箇牧水路において追跡調査を行いました。

このうち玉串川については、平成25年度から2年連続で環境基準を達成していることから、追跡調査を終了し、今後、常時監視による経過観察を行います。

その他の河川における濃度は概ね低下傾向にあり、今後も状況の把握に努めていきます。

2 事業者による測定結果の概要

ダイオキシン類対策特別措置法第28条の規定により、廃棄物焼却炉等を設置する事業者は、年1回以上、排出ガス等のダイオキシン類濃度を測定し、その結果を知事又は市町村(※)長に報告することが義務づけられています。また、知事又は市町村長は、その結果を公表することとされています。

平成26年度の府内における事業者の測定結果の概要は以下のとおりです。

※法に基づく指定都市2市及び中核市4市並びに府が条例で権限移譲している22市町村、合計28市町村

(1) 排出ガス

排出ガスの測定結果について報告を義務づけられている167事業場(293施設)のうち、休止等の施設を除いた141事業場(234施設)から報告がありました。

1施設について排出基準を超過していましたが、その他233施設においては排出基準に適合していました。排出基準を超過した1施設に対しては、速やかに改善指導を行い、施設の維持管理に係る再点検等の改善対策を講じた後の再測定結果が、排出基準に適合していることを確認しました。

(2) 燃え殻、ばいじん

廃棄物焼却炉の燃え殻及びばいじんの測定結果について報告を義務づけられている149事業場(255施設)のうち、休止等の施設を除いた燃え殻97事業場(155施設)、ばいじん102事業場(169施設)から報告がありました。燃え殻及びばいじんともに、処理基準が適用されるすべての施設について、処理基準に適合していました。

(3) 排水

排水の測定結果について報告を義務づけられている34事業場のうち、休止等の事業場を除く30事業場から報告がありました。すべての事業場において、排出基準に適合していました。

3 その他

本日、大阪市から大阪市内のダイオキシン類環境調査結果が公表されていますので、こちらをご参照ください。

4 問合せ先

1. (1) 環境調査に関すること

環境管理室環境保全課環境監視グループ 電話番号06-6972-7632

1. (2)(3) 環境保全対策に関すること

環境管理室環境保全課環境計画グループ 電話番号06-6210-9577

2. 事業者による測定結果に関すること

環境管理室事業所指導課大気指導グループ 電話番号06-6210-9581

関連ホームページ

[大阪市内のダイオキシン類環境調査結果等について\(大阪市報道提供資料\)](#)

添付資料

[平成26年度におけるダイオキシン類濃度測定結果の概要](#) (Pdfファイル、1147KB)

[平成26年度における事業者によるダイオキシン類濃度測定結果の概要](#) (Wordファイル、125KB)

[平成26年度における事業者によるダイオキシン類濃度測定結果の概要](#) (Pdfファイル、141KB)

[ダイオキシン類対策特別措置法に基づく事業者の測定結果一覧表](#) (Excelファイル、180KB)

[ダイオキシン類対策特別措置法に基づく事業者の測定結果一覧表](#) (Pdfファイル、209KB)

[ダイオキシン類の用語の解説](#) (Wordファイル、47KB)

資料提供ID

21389

[報道発表資料のトップへ](#) [ページの先頭へ](#)

1 常時監視調査結果

平成 26 年度のダイオキシン類常時監視結果及び常時監視を開始した平成 12 年度からの調査結果の推移は次のとおりです（P6 表 1、表 2 参照）。

(1) 大気〔環境基準 年間平均値 0.6 pg-TEQ/m³ 以下〕〔図 1、図 6、表 3〕

平成 26 年度の大気中のダイオキシン類調査は 36 地点で実施しました（調査回数は表 3 参照）。年間平均値で見ると、濃度範囲は 0.0084～0.053 pg-TEQ/m³、平均値は 0.021 pg-TEQ/m³ であり、各地点とも環境基準を達成しました。

また、ダイオキシン類濃度（DXN 濃度）の平均値の経年変化をみると、平成 12 年度の測定開始後、平成 15 年度まで大きく低下し、平成 16 年度以降、緩やかな改善傾向で推移しており、府内における大気中の濃度は改善しています。

なお、平成 12 年度から平成 14 年度の間では、一部の地域で環境基準を達成していませんでしたが、平成 15 年度以降は、全ての地点で環境基準を達成しています。

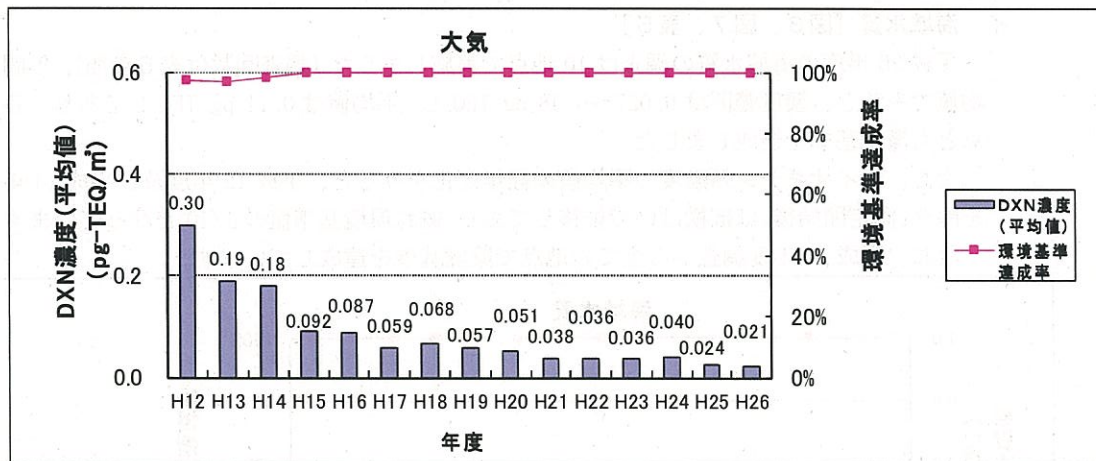


図 1 ダイオキシン類常時監視結果の推移（大気）

(2) 公共用水域の水質〔環境基準 年間平均値 1 pg-TEQ/L 以下〕

ア 河川水質〔図 2、図 7、表 4〕

平成 26 年度の河川水質の調査は 71 地点で実施しました（調査回数は表 4 参照）。年間平均値で見ると、濃度範囲は 0.022～1.2 pg-TEQ/L、平均値は 0.29 pg-TEQ/L でした。68 地点で環境基準を達成（達成率 95.8%）しており、神崎川「新三国橋」、恩智川「福栄橋下流 100m」、及び恩智川「三池橋」の 3 地点で環境基準を超過しました。

また、ダイオキシン類濃度の平均値の経年変化をみると、平成 12 年度の測定開始後、平成 19 年度まで緩やかな改善傾向を示しており、平成 20 年度からほぼ横ばいで推移しています。

なお、環境基準達成率は、平成 12 年度から平成 19 年度までは 90%をやや下回っていましたが、平成 20 年度以降は 90%以上で推移しています。

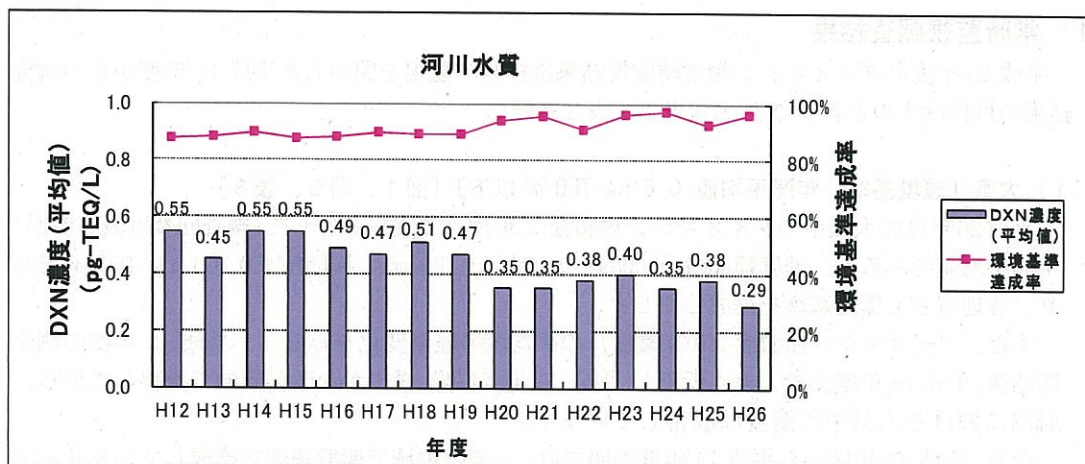


図2 ダイオキシン類常時監視結果の推移 (河川水質)

イ 海域水質 [図3、図7、表5]

平成26年度の海域水質の調査は10地点で実施しました(調査回数は表5参照)。年間平均値で見ると、濃度範囲は0.027~0.48 pg-TEQ/L、平均値は0.11 pg-TEQ/Lであり、各地点とも環境基準を達成しました。

また、ダイオキシン類濃度の平均値の経年変化をみると、平成12年度及び平成14年度を除き、測定開始後、ほぼ横ばいで推移しており、概ね環境基準値の1/10となっています。

なお、平成12年度調査から全ての地点で環境基準を達成しています。

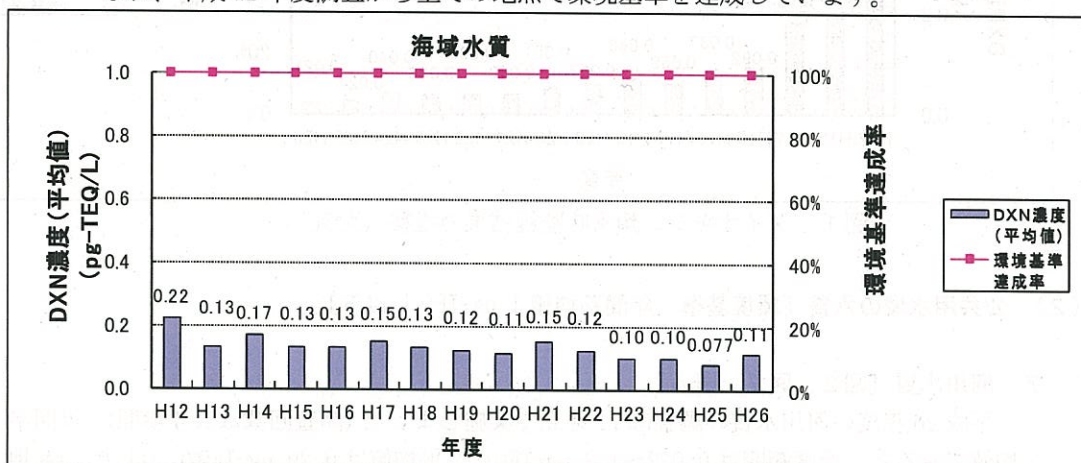


図3 ダイオキシン類常時監視結果の推移 (海域水質)

(3) 公共用水域の底質 [環境基準 150 pg-TEQ/g 以下]

ア 河川底質 [図4、図7、表4]

平成26年度の河川底質の調査は72地点で実施しました(調査回数は表4参照)。濃度範囲は0.12~150 pg-TEQ/g、平均値は18 pg-TEQ/gであり、各地点とも環境基準を達成しました。

また、ダイオキシン類濃度の平均値の経年変化をみると、平成12年度の測定開始後、緩やかな改善傾向で推移しています。

底質の環境基準は平成14年9月から適用されており、平成14年度以降の環境基準達成率は、83.6%~100%の範囲で推移しています。

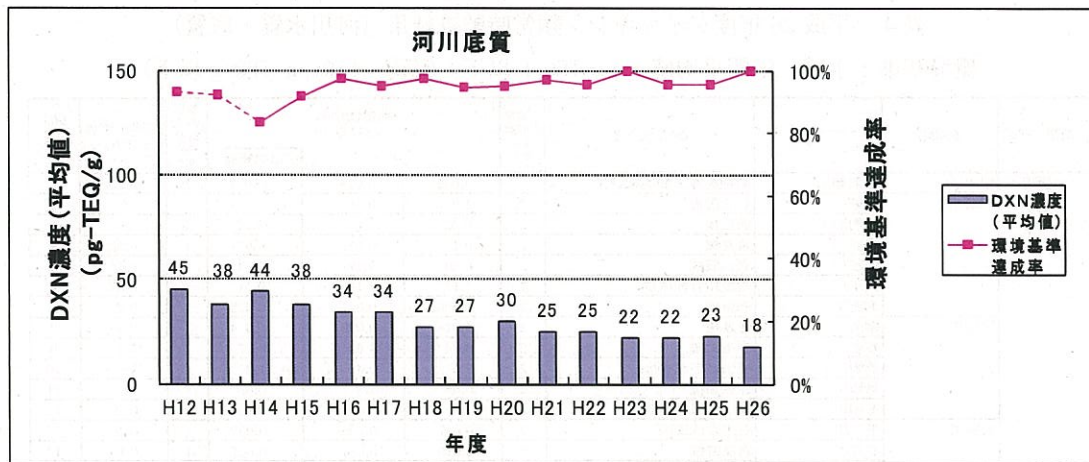


図4 ダイオキシン類常時監視結果の推移 (河川底質)

イ 海域底質 [図5、図7、表5]

平成26年度の海域底質の調査は10地点で実施しました(調査回数は表5参照)。濃度範囲は1.8~79 pg-TEQ/g、平均値は23 pg-TEQ/gであり、各地点とも環境基準を達成しました。

また、ダイオキシン類濃度の平均値の経年変化をみると、平成14年度平均値52pg-TEQ/gを除き、平成12年度の測定開始後、緩やかな改善傾向で推移しています。

底質の環境基準は平成14年9月から適用されており、平成16年度以降、全ての地点で環境基準を達成しています。

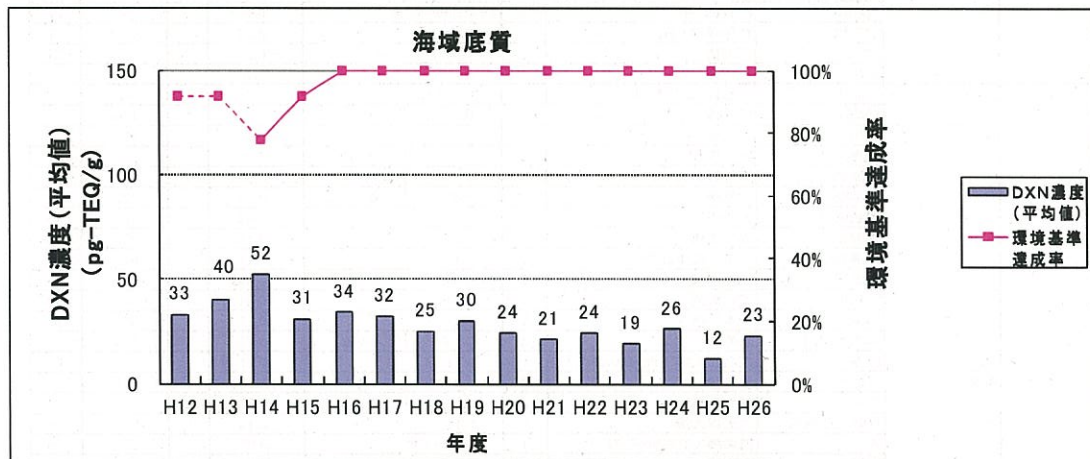


図5 ダイオキシン類常時監視結果の推移 (海域底質)

(4) 地下水質 [環境基準 年間平均値 1 pg-TEQ/L 以下] [表6]

平成26年度の地下水質の調査は、21地点で年1回実施しました。濃度範囲は0.018~0.18pg-TEQ/Lであり、各地点とも環境基準を達成しました。

地下水質調査は、人口密度や工場等の立地状況を勘案し、概ね3年サイクルで同一調査区域を調査するローリング方式により地点が偏在しないように毎年地点を変えて行っており、平成12年度から平成26年度の15年間に計452地点で調査を行った結果、全ての地点で環境基準を達成しています。

表4 平成26年度ダイオキシン類常時監視結果(河川水質・底質)
(環境基準:水質 年間平均値 1 pg-TEQ/L以下、底質 150 pg-TEQ/g以下)

調査主体	水域名	河川名	調査地点名	水質測定回数(回/年)	水質測定値(pg-TEQ/L)			底質測定回数(回/年)	底質測定値(pg-TEQ/g)	図7地点番号		
					年平均値							
大阪府	淀川	水無瀬川	名神高速道路高架橋下	2	0.032	0.026	0.029	1	0.25	1		
		神崎川	神崎川	新三国橋	2	1.9	0.26	* 1.1	1	27	2	
			左門殿川	辰巳橋	2	0.32	0.16	0.24	1	62	3	
			安成川	宮島橋	2	0.12	0.033	0.077	1	0.32	4	
			安成川	新京阪橋	2	0.56	0.12	0.34	1	0.45	5	
			大正川	安成川合流直前	2	0.11	0.10	0.11	1	0.22	6	
			箕面川	府県境	2	0.026	0.017	0.022	1	0.21	7	
	寝屋川	寝屋川	曹島橋	2	0.018	0.030	0.024	1	0.48	8		
		寝屋川	住道大橋	2	0.24	0.50	0.37	1	5.4	9		
		恩智川	福栄橋下流100m	2	2.0	0.45	* 1.2	1	79	10		
		恩智川	住道新橋	2	0.55	1.2	0.88	1	14	11		
		玉串川	J&Nグリーン大阪前	2	1.2	0.60	0.90	1	0.46	12		
		千早川	石川合流直前	2	0.037	0.026	0.032	1	0.26	13		
	大和川	石見川	新高野橋	2	0.019	0.034	0.027	1	0.18	14		
		東除川	明治小橋	2	0.32	0.18	0.25	1	0.34	15		
		西除川	狭山池合流直前	2	0.24	0.084	0.16	1	0.26	16		
		泉州諸河川	大津川	大津川橋	2	0.38	0.15	0.27	1	0.59	17	
			春木川	春木橋	2	0.35	0.46	0.41	1	0.24	18	
			津田川	昭代橋	2	0.11	0.49	0.30	1	0.62	19	
	近木川		近木川橋	2	0.17	0.28	0.23	1	0.37	20		
	見出川		見出橋	2	0.59	0.44	0.52	1	4.2	21		
	佐野川		昭平橋	2	0.64	0.18	0.41	1	0.47	22		
	樺井川		樺井川橋	2	0.49	0.45	0.47	1	0.57	23		
	男里川		男里川橋	2	0.13	0.10	0.12	1	0.53	24		
	大川		昭南橋	2	0.23	0.12	0.18	1	1.5	25		
	西川		こやま橋	2	0.086	0.052	0.069	1	1.5	26		
	八尾市	寝屋川	平野川	東竹割橋	2	0.52	0.079	0.30	1	9.2	27	
	近畿地方整備局	淀川	淀川	枚方大橋中央	1	0.090		0.090	1	0.22	28	
			淀川	菅原坂北大橋	1	0.12		0.12	1	0.26	29	
			淀川	淀川大堰	1	0.12		0.12	1	1.1	30	
			淀川	伝法大橋	—	—		—	1	1.7	31	
			芥川	鷲打橋	1	0.078		0.078	1	0.29	32	
		神崎川	猪名川	利倉	1	0.093		0.093	1	0.25	33	
大和川			大和川	造里小野橋 中	1	0.58		0.58	1	0.23	34	
		大和川	河口部 中	4	0.093~0.98		0.45	4	1.4	35		
		大和川	祐原塚堤 右	1	0.24		0.24	1	0.29	36		
		大和川	河内橋	1	0.23		0.23	1	0.25	37		
		石川	石川橋	1	0.10		0.10	1	0.23	38		
		大阪市	神崎川	神崎川	小松橋(江口橋)※	4	0.11~0.41		0.28	1	6.7	39
				神崎川	千船橋	2	0.36	0.18	0.27	1	150	40
大阪市内河川			大川	桜宮橋	1	0.18		0.18	1	17	41	
			堂島川	天神橋(右)	2	0.55	0.44	0.50	1	2.7	42	
			土佐堀川	天神橋(左)	2	0.62	0.49	0.56	1	1.9	43	
			東横堀川	本町橋	2	0.45	0.81	0.63	1	9.3	44	
	道頓堀川		大黒橋	4	0.21~1.5		0.62	1	26	45		
	六軒家川		春日出橋	1	0.15		0.15	1	95	46		
	正蓮寺川		北港大橋下流700m	1	0.11		0.11	1	61	47		
	安治川		天保山渡	1	0.092		0.092	1	30	48		
	尻無川		甚兵衛渡	1	0.24		0.24	1	47	49		
	木津川		千本松渡	1	0.17		0.17	1	62	50		
	木津川運河		船町渡	2	0.16	0.093	0.13	1	130	51		
	住吉川		住之江大橋下流1100m	1	0.11		0.11	1	71	52		
	寝屋川		平野川	城見橋	2	0.31	0.40	0.36	1	85	53	
平野川		南弁天橋	2	0.24	0.20	0.22	1	65	54			
平野川分水路		天王田大橋	1	0.14		0.14	1	28	55			
古川		徳栄橋(中茶屋橋)※	4	0.48~1.9		0.97	1	37	56			
寝屋川		今津橋	4	0.48~0.75		0.63	1	7.5	57			
寝屋川		京橋	2	0.30	0.33	0.32	1	0.48	58			
第二寝屋川		下城見橋	2	0.34	0.50	0.42	1	16	59			
堺市		大和川	西除川	大和川合流直前	1	0.13		0.13	1	0.15	60	
	東除川		新大阪橋	1	0.077		0.077	1	0.12	61		
	泉州諸河川	内川	堅川橋	1	0.12		0.12	1	74	62		
		石津川	石津川橋	1	0.095		0.095	1	0.18	63		
		和田川	小野々井橋	1	0.19		0.19	1	0.18	64		
		高槻市	淀川	榑尾川	1	0.072		0.072	1	0.64	65	
東大阪市	神崎川	番田井路	1	0.13		0.13	1	2.2	66			
	寝屋川	第二寝屋川	新金吾郎橋	2	0.10	0.067	0.084	1	1.3	67		
豊中市	神崎川	恩智川	三池橋	2	2.0	0.30	* 1.2	1	50	68		
		千里川	猪名川合流直前	2	0.14	0.027	0.084	1	0.17	69		
枚方市	淀川	船橋川	新琴橋上流	2	0.081	0.071	0.076	1	0.27	70		
		穂谷川	淀川合流直前	2	0.16	0.16	0.16	1	0.13	71		
		天野川	淀川合流直前	2	0.22	0.068	0.14	1	0.14	72		
平均値									0.29	18		

※の()内は、底質を採取した地点を示している。

*は環境基準超過

◆これまでの底質環境基準超過地点における測定結果の推移

表 底質環境基準超過地点測定結果の推移【平成12～26年度】

水域名	河川名	測定地点	底質濃度(pg-TEQ/g)																
			H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26		
河川	神崎川 水域	新三国橋	510	150	180	370	86	41	300	160	80	120	85	66	44	60	27		
		千船橋	180	320	370	160	100	510	61	110	280	93	45	150	160	38	150		
		左門殿川 辰巳橋	260	53	200	240	140	81	50	55	500	160	93	84	41	67	62		
	寝屋川 水域	恩智川 住道新橋	120	99	160	120	95	68	60	57	42	42	52	19	55	88	14		
		古川※1 徳栄橋	19	11	3.8	6.3						98							
		中茶屋橋					540	300	150	190		27	180	82	84	140	37		
	平野川	城見橋	130	140	160	110	100	110	97	100	87	66	91	82	62	61	85		
	大阪市 内河川	道頓堀川※2	大黒橋	120	210	300	170	150	120	120	14	96	110				26	26	
			深里橋											190	130	170			
		正蓮寺川	北港大橋 下流700m	140	170	180	130	130	110	72	66	61	61	55	55	40	38	61	
		六軒家川※3	春日出橋	160	240	190				320	180	180		79	80	61	79	67	95
			六軒家橋				66	64					46						
		木津川	千本松渡	450	320	220	240	150	120	130	140	210	160	120	110	89	190	82	
		木津川運河	船町渡	130	150	260	180	220	190	120	130	230	150	180	150	190	170	130	
		住吉川	住之江大橋 下流1,100m	130	200	170	140	140	130	140	250	40	64	78	120	89	160	71	
	東横堀川※4	平野橋	52	71	160														
		本町橋				5.7	9.8	8.4	7.0	7.1	23	5.7	6.1	3.9	5.6	7.4	9.3		
海域	大阪湾(1)	0-4 神崎川河口中央	160	190	170	170	150	100	84	85	88	71	63	61	100	14	66		
		0-6 木津川河口中央	40	110	190	66	56	81	68	110	58	67	100	64	74	36	79		
環境基準超過地点数			*6	*7	14	7	2	4	2	4	4	2	3	0	3	3	0		

* 底質の環境基準は平成14年9月から適用

※1 古川

- ・基本となる調査地点は徳栄橋。
- ・H16・17年度、徳栄橋で分析に必要な量の泥が採取できなかったため、中茶屋橋で採泥。
- ・中茶屋橋で基準値超過の泥が見つかったことから、調査地点を徳栄橋から中茶屋橋へ変更。
- ・H20年度、中茶屋橋で分析に必要な量の泥が採取できなかったため、徳栄橋で採泥。

※2 道頓堀川

- ・基本となる調査地点は大黒橋。
- ・H22～24年度は、大黒橋の架替工事のため、深里橋で採泥。

※3 六軒家川

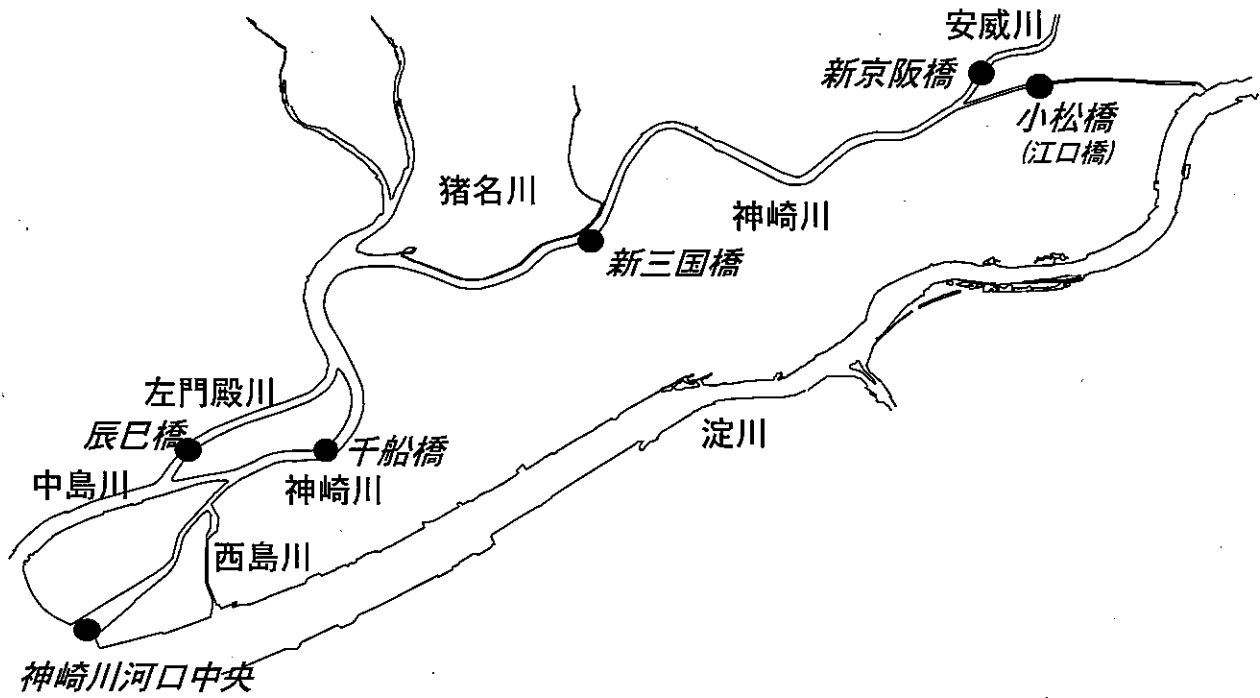
- ・基本となる調査地点は春日出橋。
- ・H15・16・20年度、春日出橋で分析に必要な量の泥が採取できなかったため、六軒家橋で採泥。

※4 東横堀川

- ・基本となる調査地点は本町橋。
- ・H12～14年度、本町橋で分析に必要な量の泥が採取できなかったため、平野橋で採泥。

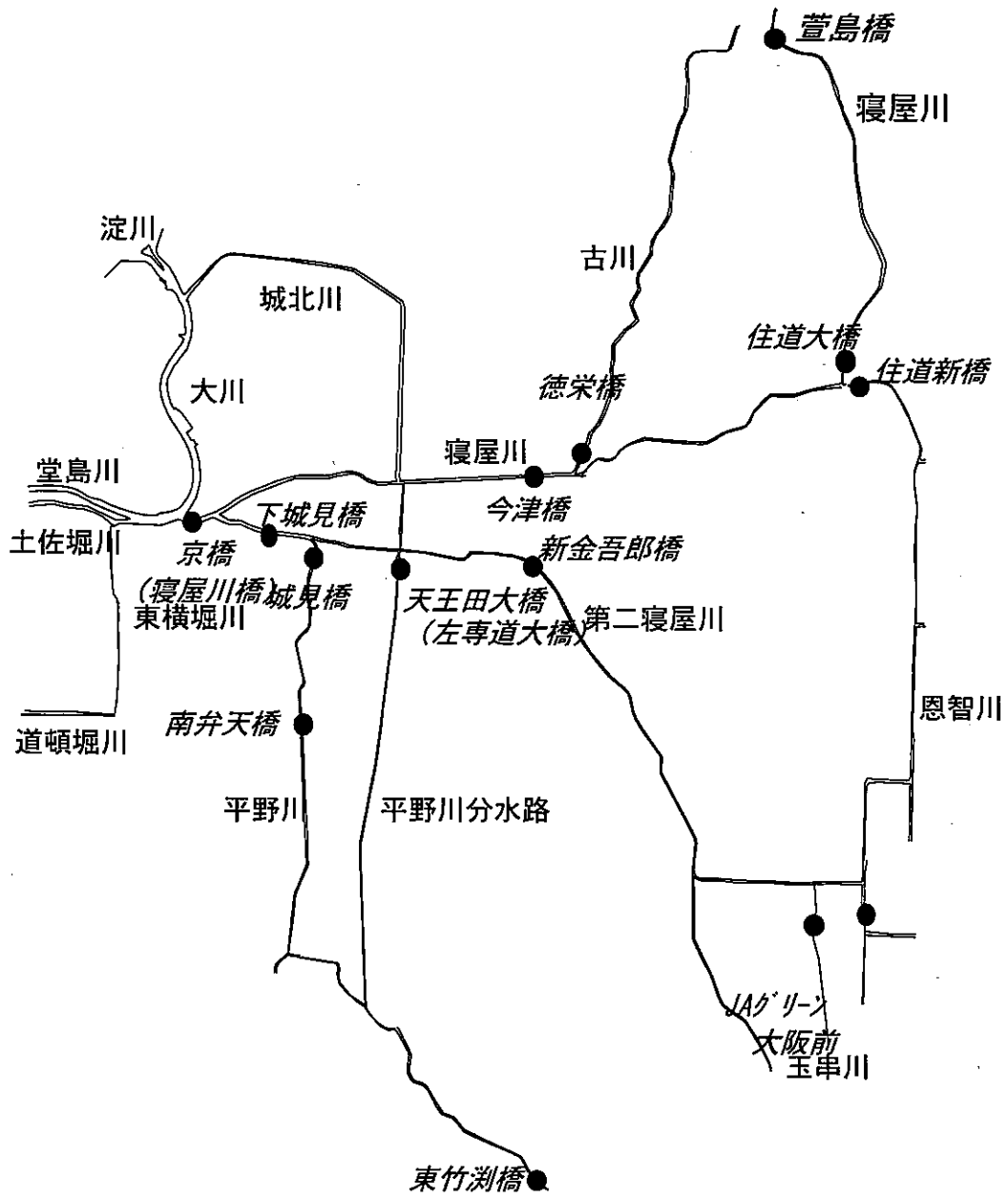
調査地点位置図

○神崎川(上流ブロック・下流ブロック)



調査地点位置図

○寝屋川ブロック



調査地点位置図

○大阪市内河川ブロック

